

Daily Report (号外)

～3月の米雇用統計について～

結果概要

米国労働省が4月5日に発表した3月の雇用統計は、非農業部門雇用者数が前月比+30.3万人と市場予想(同+21.4万人)を大幅に上回る結果となりました。2月の非農業部門雇用者数は+27.0万人(速報値+27.5万人)に下方修正されました。

業種別では建設業が+3.9万人(前月+2.6万人)、教育・ヘルスケア業が+8.8万人(同+8.2万人)、娯楽・宿泊業が+4.9万人(同+4.3万人)と全体の伸びを牽引しました。

失業率は3.8%と市場予想通りとなり、前月(3.9%)から低下しました。

平均時給は前年同月比が+4.1%と市場予想通りとなり、前月(同+4.3%)から鈍化しました。前月比は+0.3%と市場予想通りとなり、2月分は+0.2%(速報値+0.1%)に上方修正されました。

労働参加率は+62.7%と市場予想(+62.6%)を上回り、前月から上昇しました。

市場反応(米国市場)

5日の米国株式市場は揃って上昇しました。

米雇用統計で非農業部門雇用者数が市場予想を大幅に上回ったことを受け、強い米経済が引き続き企業業績を押し上げるとの期待が強まり、ハイテク株、景気敏感株や消費関連株中心に買いが入りました。NYダウ平均株価は前日比+0.80%、S&P500指数は同+1.11%、ナスダック総合指数は同+1.24%となりました。

米国債券市場は、予想を上回る非農業部門雇用者数の結果から利下げ時期の後ずれ観測が強まり、売りが優勢となりました。10年債利回りは前日比+0.09%上昇の4.40%で終わりました。

米ドル/円は、米雇用統計の結果を受け、米長期金利が上昇し日米金利差が拡大したことで、円売り米ドル買いが進み、前日比28銭円安米ドル高の151円62銭程度で取引を終えました。

原油先物市場は、労働参加率の上昇等強い雇用統計の結果が示され米経済のソフトランディング期待が維持されたことから、原油需要の伸びは継続するとみた買いが優勢となり、WTI原油先物5月限は前月比+0.37%の1バレル=86.91ドルと上昇しました。



評価・今後の見通し

3月の米雇用統計は、非農業部門雇用者数の市場予想を上回る増加や、失業率の前月からの低下など、引き続き雇用の底堅さを示す内容となった一方で、平均時給は前年同月比の伸び率が前月から低下する等、賃金インフレについては勢いの弱まりを示唆する結果となりました。

市場では今回の雇用統計の結果を受け、ソフトランディングの期待が高まった一方、景気の下支えを目的にFRBが早期利下げをするという見方は後退しました。

市場の予想する利下げ時期は、堅調な雇用統計の結果や、一部のFRB高官の利下げ見送りへの言及を受け、5月FOMCで利下げを見送る確率が93%程度とほぼ大半を占めているほか、6月FOMCで利下げを見送る確率が指標発表前日(4月4日)の35%程度から、現在は50%程度まで上昇しており、FRBが早期に利下げに踏み切る可能性は低いとの予想が強まっています。

今後の株式市場の見通しとしては、短期的には4月10日発表の米消費者物価指数、11日発表の米生産者物価指数、15日発表の米小売売上高など引き続きインフレや景気動向に関連する指標に加え、4月17日公表のベージュブック(米地区連銀経済報告)に注目が集まるものと考えます。また、中東情勢を巡る緊張感の高まりは原油価格上昇を通じインフレ懸念を強める可能性があるため、注視が必要です。

長期的には、FRBは市場の早期利下げ期待をけん制しつつ、慎重に金融政策を実施していくとみられることから、経済指標の強弱に左右されるボラティリティの高い相場が継続すると見えています。

また、今後インフレが思うように収束せず、政策金利が現状の水準にしばらくの間維持されるリスクや、米景気の急減速によりFRBが早期の利下げに追い込まれるリスクには警戒が必要と考えます。

Daily Report(号外)

(ご参考) 主要業種別雇用者数増減(前月比・万人)

出所:米国労働省

	23/10	23/11	23/12	24/1	24/2	24/3
非農業部門	+16.5	+18.2	+29.0	+25.6	+27.0	+30.3
鉱工業部門	-1.0	+3.6	+3.3	+3.0	+1.7	+4.2
建設業	+2.2	+1.5	+1.8	+2.6	+2.6	+3.9
製造業	-3.1	+2.5	+1.2	+0.6	-1.0	+0.0
資源・鉱業	-0.1	-0.4	+0.3	-0.2	+0.1	+0.3
サービス部門	+10.8	+11.6	+18.1	+16.6	+19.0	+19.0
卸売業	+1.2	+0.7	+0.7	-0.7	-0.3	+0.9
小売業	+0.1	-4.3	+3.2	+1.7	+2.3	+1.8
輸送・倉庫業	-0.9	-1.1	-1.8	-0.4	+2.3	+0.1
情報	-2.6	+1.7	+1.3	+0.8	-0.3	+0.0
金融	+0.0	+0.4	+0.6	-0.4	-0.6	+0.3
専門・ビジネスサービス業	-0.5	+1.0	+1.3	+4.8	+1.7	+0.7
人材派遣業	-2.3	-1.4	-2.1	+0.8	-1.2	-0.1
教育・ヘルスケア業	+7.7	+11.0	+8.4	+10.0	+8.2	+8.8
娯楽・宿泊業	+5.7	+1.0	+4.1	-0.3	+4.3	+4.9
その他	2.3	2.5	2.4	0.3	2.6	1.7
政府部門	+6.7	+3.0	+7.6	+6.0	+6.3	+7.1
失業率(%)	3.8	3.7	3.7	3.7	3.9	3.8
平均時給(前年同月比、%)	4.3	4.3	4.3	4.4	4.3	4.1

(ご参考) 非農業部門雇用者数増減と失業率の推移

